

## 「9条に自衛隊」

### 首相提案を批判

#### 憲法学者ら「お粗末」

5/23 祐井

安倍晋三首相が憲法9条への自衛隊明記を唱えた改憲提案について、憲法学者らでつくる「立憲アモクラシー」の会は22日、東京都内で記者会見し、「理由も必要性も不透明な、お粗末な提案」と批判する見解を明らかにした。

見解は「自衛隊は既に国民に広く受け入れられた存在で、憲法への明記に意味はない。不必要的改正」とした上で「改憲自体が目的であるかのように、憲法を軽んじる言辞を繰り返す」とは、責任ある政治家のとるべき態度ではない」とした。

会見した東京大の石川健治教授（憲法学）は「9条があつたからこそ、自衛隊を持つことの正当性が常に問われ続け、軍拡競争にブレーキをかけてきた」と意義を強調した。